

●本リリース(全1枚)は、大分県政記者クラブ・別府市政記者クラブ・福岡経済記者クラブ加盟各社に送信しています。

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

お知らせ・取材案内

立命館アジア太平洋大学

2016年4月28日

APU リリース 2016-13

報道機関 各位

別府ムスリム協会 APU 教員、学生を中心に 避難所にパキスタンやインドネシアの郷土料理を届ける

立命館アジア太平洋大学 (APU) 国際経営学部カーン・ムハマト・タヒル教授を中心とした、イスラム教徒のコミュニティ「別府ムスリム協会」は、先日の熊本地震の影響で別府市内で避難している人々のために、カーン教授の出身であるパキスタンの郷土料理ビリヤニ (スパイスと肉・野菜などから作る米料理) やカレーライス、インドネシアのミーゴレンなどを作り届ける活動をしています。この活動は17日から現在まで続いています。イスラム教のAPUの学生、卒業生を中心に、活動しています。

カーン教授は、「困っている人がいたら助けること、日本には助けてもらっているので恩返しをしたい」と思い、この活動を始めました。毎朝、市役所にその日に開設している避難所を確認し、全避難所に弁当を届けています。また、長期にわたり避難している方々を考慮し、メニューが重ならないようにも工夫しています。現在、以下のスケジュールで活動しており、カーン教授は「避難所がなくなるまで、この活動を続けます」と述べています。

15 時頃 食材を切る等下準備
17 時頃 煮込む等の調理開始
18 時頃 各避難所へ配達開始

場所：ムスリム礼拝所「別府マスジド」(別府市若草町)
同上

今後は、毎月第1、3金曜日の夕方に、ムスリム礼拝所「別府マスジド」で、市民とのコミュニケーション促進を目的に、イスラムの食事を通じた交流イベントを予定しています。



避難所でお弁当を渡す



今回の支援活動に関わった学生たち

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室 (広報) 担当：加藤・宮腰
Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 住所：〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1
APU ウェブサイト：<http://www.apu.ac.jp/home/>
フェイスブック：<https://www.facebook.com/apunews/>